

いのちと環境を考える

水俣・芦北に風力発電は必要か

現在、水俣周辺に三か所（仮称）大関山風力発電所、（仮称）肥薩ウインドファーム、出水水俣ウインドファーム）の大規模風力発電計画が持ち上がり、事業者による環境影響評価の手続きが進められてきています。山間部に大型の風力発電塔を設置することで、大雨による土砂災害のリスクが高まります。低周波騒音による住民への健康被害の可能性、バードストライクによる野鳥や生態系への悪影響等が懸念され、周辺住民のいのちと環境が脅かされています。

巨大な風車で発電された電力は全量都市部に送られ、エネルギーの地産地消とはなりません。かつて、水俣の山間部に計画された産業廃棄物最終処分場問題とも共通する地元のためではなく大都会のための計画といえるでしょう。再生可能なエネルギーということで受け入れられるかどうか、現在進行している三社の風力発電計画の課題を検証することを目的として開催します。

お申し込みは **水俣学現地研究センター**

水俣市浜町二七七一三 電話・FAX 〇九六六・六三・五〇三〇

e-mail m-genchi@kumagaku.ac.jp

開館時間 火～金 午前十時から午後四時

期間：2022年 9月27日～10月25日

毎週火曜日 午後6時30分～8時30分

会場：エコネットみなまた（熊本県水俣市南福寺60）

9月27日 大島 堅一（龍谷大学教授）

「2050年カーボンニュートラルと再生可能エネルギー源の確保、第6次エネルギー基本計画について」

10月 4日 長峰 智（日本地質学会会員）

「水俣山間部の地形と風力発電の立地による災害の危険性」

10月11日 松井 利仁（北海道大学教授）* 遠隔講演

「風力発電による健康障害－低周波騒音について」

10月18日 水俣・芦北住民からの報告

「水俣周辺の大規模風力発電を考える」

10月25日 中地 重晴（水俣学現地研究センター長・社会福祉学部教授）

「カーボンニュートラルと水俣での大規模風力発電を考える」

* 受講はすべて無料です

* オンライン(ZOOM)での受講も可能です。希望者はお問い合わせください

* 全講義受講者には修了証を発行します